



▲笑顔の輝く財部北小

そ 曾 於

2006.3 No.3

議会だより

編集：鹿児島県曾於市議会
 発行：議会広報等調査特別委員会
 〒899-8692 鹿児島県曾於市末吉町二之方1980
 ☎ 0986-76-8816 FAX0986-76-1122

● 主な内容 ●

委員会審議

17P

新市政に問う
 一般質問に11人

6P

補正予算
 第3号から第5号

5P

人事案件
 助役他3名選任

5P

規約・条例等の改正

4P

平成16年度(旧3町)
 決算審査承認

2P

決算認定!

旧末吉町 90億8070万6千円
 旧大隅町 73億9005万7千円
 旧財部町 56億7242万1千円

認定

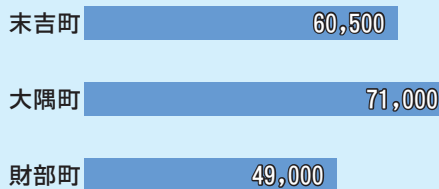
▼12月7日の第2回定例会において、提出された旧3町の一般会計・特別会計(14件)の決算は、各常任委員会に付託され、執行部から提出された資料に基づいて審査をおこない、1月臨時議会において賛成多数で全ての会計を認定しました。

◎平成16年度

一般会計歳入歳出 決算

末吉町の歳出決算額90億8070万円、大隅町の歳出決算額73億9005万円、財部町の歳出決算額56億7242万円で、平成17年4月1日現在の推計人口で割ると、1人当たり末吉町44万7500円、大隅町56万8500円、財部町51万9200円となります。また、皆さんから納めていただいた町民税、固定資産税などの町税総額は、末吉町12億2888万円、大隅町9億2395万円、財部町5億3542万円で、推計人口で割ると1人当たりの納付額は、末吉町6万500円、大隅町

町民1人当たりの町税負担

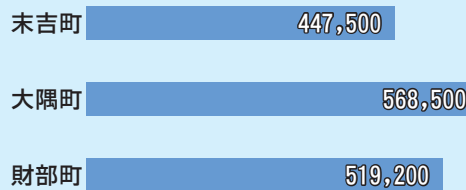


町民1人当たりの町税負担は

末吉町 6万500円
 大隅町 7万1000円
 財部町 4万9000円

7万1000円、財部町4万9000円となります。町発展のための農業基盤、社会生活基盤、教育環境の整備など、町民生活向上のため限られた予算の中で最大の配慮をし、健全財政を目標に諸施策が進められております。

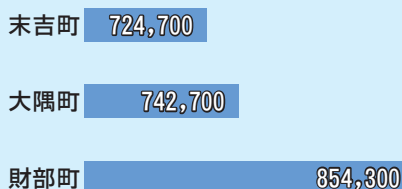
町民1人当たりの費用



町民1人当たりの費用は

末吉町 44万7500円
 大隅町 56万8500円
 財部町 51万9200円

前年度に対し、1人当たり医療費が増える!



前年度に対し、1人当たり医療費が増える!

末吉町 72万4700円
 大隅町 74万2700円
 財部町 85万4300円

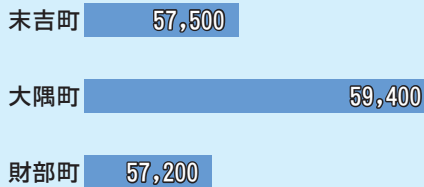
◎平成16年度 老人保健特別会計 歳入歳出決算

今後に生かせ

一般会計歳出決算

221億4318万4千円

町民1人当たりの保険税負担



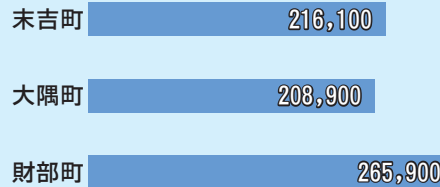
末吉町 5万7500円
大隅町 5万9400円
財部町 5万7200円

町民1人当たりの
保険税負担は

◎平成16年度
国民健康保険特別
会計歳入歳出決算



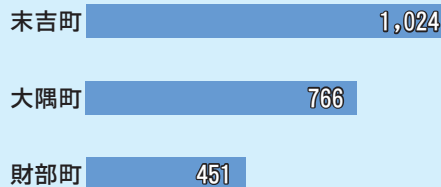
町民1人当たりの医療費



末吉町 21万6100円
大隅町 20万8900円
財部町 26万5900円

医療費等は

介護認定者数

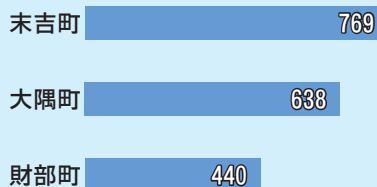


末吉町 1024人
大隅町 766人
財部町 451人

介護認定者数は

◎平成16年度
介護保険特別会計
歳入歳出決算

介護利用者



末吉町 769人
大隅町 638人
財部町 440人

介護利用者は

市町村合併にともなって 条例・規約が変更され すでに承認されたものの報告

報告第 1 号 専決処分事項の報告について

出水市の配置分合にともなって鹿児島県市町村消防補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村消防補償等組合規約の変更を行うもので、全会一致で承認されました。

その他報告第 2 号～報告第 15 号までも専決処分され、その報告についても全会一致で承認されました。

公の施設の指定管理者の指定をする条例

※ 国の法律制度にともなって市で管理している施設について（学校・庁舎等除く）は指定管理者を置くように決まりそのための条例です。民間団体や団体そして直接市で管理する事を含めて条例化するものです。公の施設は管理費がかかり経営的には赤字になり大部分は市の直営になる予定である。

議案第 55 号 曾於市公の施設に係る指定管理者の指定の手続きに関する条例の制定について

各議員から、利益だけを追求する民間委託するとなると住民サービスの切捨てになる恐れがある。当局は指定管理者を提案する場合は十分検討すべきであると意見が出され条例には全会一致で可決されました。

議案第 56 号～議案第 88 号まで全会一致で可決されました。

人事案件

助役に

末廣光秋氏
を選任



末廣光秋氏

曾於市2人助役制の1人として、末廣光秋氏(財部町北俣)を選任したい旨、市長より提案があり、議会で同意することに決定しました。

監査委員に

平澤津孝志氏
を選任



平澤津孝志氏

議会選出の監査委員に

平澤津孝志氏(末吉町南之郷)を選任したい旨、市長より提案があり、議会で同意することに決定しました。

教育委員会委員に

池田睦朗氏
馬場雅子氏
植村和信氏
を選任

を選任

教育委員会委員に池田睦朗氏(財部町南俣)・馬場雅子氏(大隅町月野)・植村和信氏(大隅町岩川)の3氏を任命したい旨、市長より提案があり、議会で同意することに決定しました。



池田睦朗氏



馬場雅子氏



植村和信氏

17年度一般会計補正予算
増額 3431万1千円

1月臨時会で
1億15万8千円の
補正を可決

◎平成17年度曾於市
一般会計補正予算
(第3号)

財部埋立処分場処理棟外壁補修工事や学校給食用回転釜購入費等、3355万3千円の追加補正であります。

◎平成17年度曾於市
水道事業会計補正予算
(第2号)

大隅八合原地区第4水源開発さく井工事請負費等で952万円の追加補正であります。

◎平成17年度曾於市
一般会計補正予算
(第5号)

農業用施設・農地災害復旧工事費及び東九州自動車道に伴う流末排水整備工事費等の追加補正であります。

◎平成17年度曾於市
一般会計補正予算
(第4号)

曾於市教育長の給与等の条例改正による75万8千円の追加補正であります。



大隅町(神牟礼集落付近)

問5

一般質問 11 議員登壇



徳峰一成議員

敬老祝金は18年度から 支給方法をもとにもどせ

市長／当面は節目支給を行う

徳峰一成議員

今年

の節目支給は、高齢者の間では大きな不満がある。そもそも行政が市民に不公平感をもたせるやり方には問題がある。来年から70歳以上の全員に支給すべきだ。

池田市長

全員に支給

してほしいといった意見も多いが、一方で節目支給に住民のご理解を頂いている。当面は節目支給を行っていききたい。

問

圧倒的な方が全員支給を望んでおられる。私

はこの問題で市は、アンケート調査を行うよう提案したい。

市長

節目支給は初めた

ばかりであり、アンケート調査は考えていない。

問

アンケート調査など

市民の世論を確かめることをせず節目支給を続けることはとうてい認めら



長寿祝金を渡す市長

実情にそくした内容に改めるべきではないか。

市長

現在、

国保税には軽減制度があり、また、介護保険料は来年度から6段階となる。このため、税の減免規則改定は必要ない。

問

旧3カ町の

税の未納は2億6千万円

である。市の取り組みには限界があるという認識か。

市長

限界がある。

問

そうだからこそ、こ

各種税金の減免規則 は実情にそくして改 めるべき

問

現代、市民税や国保

税など市独自の減免規則がある。ところが、減免制度が活用されていない。

市長

研究はしていき

れまで活用されていない。税の減免規則を実情にそくして改めるべきではないか。今後、全国の市町村の優れた事例を研究しながら対応すべきだ。

施設の維持管理費の 赤字解消を

問

昨年度学校を除く曾

於市の117施設の維持管理費の赤字は、私の試算では8億3千万円となっている。なかには昭和40年から50年代に建設された施設も多いため、施設の赤字はさらに増えるおそれがある。

市長

私は今後、市当局は1

17の全ての施設について、来年3月までに向こう数年間の収支計画を立てるよう要求したい。そ

乗合タクシー・バス センターの設置を

問

計画では来年度から、

乗合タクシーは末吉を起点に、岩川、財部まで運行される。末吉の起点となる所はどこか。

市長

今のところ決めて

問

末吉の起

点となる所に、バスセンターの設置が必要ではないか。

市長

必要だと

考える。利用者へのアンケート、商店街のアンケート調査をしながら検討したい。



末吉町メセナプール

助役及び教育委員の 選任について

市長／施策の中で発揮したい

市政に



桂次雄議員

桂次雄議員 3町の均衡ある発展と、公正、公平を政治信条とされているが、助役の選任は旧町の融和と対等合併の基本協定から逸脱しているのでは。

池田市長 人事の地域性は必要と考えるが、今回、助役選任は本定例議会最終日に提案したい。また、旧町の均衡ある発展と融和は、施策の中で発揮したい。

問 教育委員3名が不在で、委員会の開催及び教育長の選任ができていない現状をどのように捉えられておられるか。

市長 教育委員欠員のため委員会が開かれず、県教委に内申する。決済ができない状況等は、教育行政に支障をきたしている状況は責任を感じてい

る。本定例議会に選任をお願いしたい。

職員の新規採用は

問 新市の事務組織及び機構構築では、行政組織のスリム化と職員の削減が合併協議会で強く論議された事実を踏まえれば、なぜ新規の職員を採用されるか。

市長 ご質問のとおり、人件費の削減は論議されたところである。17年3月には15名の退職者があつたが、その後、採用はしていない。今後、団塊の世代が多く退職しますと世代間バランスを考え若干名の採用をする。



市民窓口として一番利用される市民課（末吉支所にて）

行財政改革の 取組状況

問 行政改革大綱、適正化計画を早急に策定するための、民間の学識経験者等で構成する「行政改革推進委員会」の立ち上げはどのような形になっているか。

市長 委員10名を委嘱し11月30日に立ち上げ、1月下旬の答申を頂き2月に公表し、3月までに決定することになっている。

市長と語る会の 目的は

問 大隅町恒吉地区2ヶ所て11月7日に開催されたと聞くが、大隅支所関係各課には何の連絡もなく市長1人で行かれたとのことであるが、目的は何であったのか明確にされた。

市長 私からの要請ではなく村づくり委員会からの要請があり、道路災害で大型車が通れないので、迂回路の林道整備の要請を受けたところであるが、夕方時間がなかったのも事実で今後検討したい。

防犯灯（街路灯）の増設を

市長／危険箇所があれば対応していく



五位塚剛議員

五位塚剛議員

旧町において子供たちの通学路を含めた防犯灯の設置状況はどのようになっていくか。

池田市長 末吉町は平成7年から400基取付け、その他は自治会取付けに補助している。大隅町は中学校統合に基づいて対応しました。財部町は130基取付けている。

現在、全国各地で小学生を対象とした殺人犯罪が多発している。合併後の市の対応として通学路や危険箇所、そして財部町の自治会間の防犯灯の設置は急ぐべきではないか。



通学路の防犯灯

四季祭市場は独立採算で

市長 教育委員会において、通学路における再点検を行い危険箇所があれば対応していく。

市長 曾於市になって、四季祭市場へ大隅、財部の市民の方から加入の要望があるが、今後の取扱いはどうするのか。

市長 合併になったので加入は可能だと思う。その施設に出荷協議会があるのでは、決定はそこできると思う。

市長 オーブンから9月末までの利用者数は約18万3千名で全体売

場がオーブンし1年が経過し、また、道の駅として認定されたが、現在の運営状況はどうか。

市長 現在は、四季祭市場は行政と切り離し独立採算で運営し、売り上げを伸ばし建物使用料や修繕費もまかなわなければならないか。

市長 運営は独立採算でやっているのが基本と考えている。駐車場については今後、検討していく。



自転車通学風景

中学1年生の自転車通学補助は平等に

市長 旧末吉町では、中学1年生の自転車通学に対して5・7km以上の方に2万5千円の自転車購入補助があり父母から喜ばれている。しかし、それ以外の自転車通学の方から平等に支給してほしいとの声がある。平等にすべきではないか。

市長 今後は、市として5km以上の自転車通学生に、1年間に1万円ずつ3万円支給する予定である。

市長 自転車通学を認めている2km以上の方にも、金額は変えても平等に支給するべきではないか。

市長 補助事業であるので、どこかで区切りをしなければならぬから分かっている。

商工会の合併支援を

市長／十分検討していきたい



海野隆平議員

海野隆平議員

平成18

年4月1日曾於市商工会の合併に向け、町商工会は精力的に取り組んでいるが、商工会の合併に対する市長の所見を聞きたい。

池田市長

観光、イベント等を通して、産業及び商工等の振興に最大限

の努力をして参る所存である。

問 商工会は補助団体であり、県や市に依存している面が大きいが、市に対する補助要綱について現行のとおりと理解しているか。

市長 商工会の財源は補助金7割、自主財源3割と聞いている。また、公

益法人の立場上補助金に大きく依存せざるをえない状況であるということも理解している。商工会としても可能な限り改革の自助努力を期待している所であり、今後は行財政改革推進委員会等の意見も踏まえ十分検討をしていきたい。



財部町商店街

問 商工会が合併した後、運営する中で予算要求に合せて補助金の確保が大きな課題であるが再度答弁を求めます。

市長 商工会の合併は行政としても前向きにとらえている。財政等見極めながら、担当、商工会とも打ち合せながら合併した年の補助金として何かを考えていきたい。

行財政改革の推進は

問 行政改革推進のための委員会を設置されたが、メンバー構成を聞きたい。また、今まで何回会合があったのか。

市長 大学教授1名、民間経営者2名、行政経験者1名、税理士1名、民間団体2名、女性団体1名、教育関係者1名、農

業関係者1名の合計10名となっている。委員会は11月30日と12月12日の2回開催している。

問 行財政改革推進のため、どのような重点項目について話し合いがなされているのか。

市長 主な骨子であるが、まず第1に持続可能な行財政構造の構築に向けた取り組み、その中に定員の管理及び給与の適正化、事務事業の見直し、民間委託等の推進、地方公営企業及び土地開発公社の経営の健全化、第2に地方分権時代にふさわしい行政態勢の構築に向けた取り組み、その中に組織機構の再編整備、行政評価制度の導入、パブリックコメント制度の導入、電子自治体の推進、地域共同の推進など大きな柱としている。

問 曾於市振興計画はいつ出されるのか。また、準備状況はどうか。

市長 3月定例議会に提案したい。現在、各課において事業調査を提出して頂いて集計している段階で策定委員会を開く予定である。

問 委員会の答申はいつ出されるのか。

市長 財政運営政策の中でどのように生かされていくのか1月下旬に行政改革大綱の答申が出される予定であり、3月下旬に行政改革大綱及び定員適正化計画の決定ということで答申を頂く予定である。

学区（通学区区域）は見直すべきでは

市長／検討していく



渡辺利治議員

渡辺利治議員

教育委員選任の遅れにより教育上問題点はないか見解を求める。

池田市長

定例教育委員会が開けず県教委へ内申すべきものが出来なかった。提案の反省もして、議会へ再度お願いする。

問 不都合な点等の対応はどうされたか。

八木教育次長

法律に基づいて処理できないものとして年度途中の教職員の育児休業等の任命や内申、四半期毎の昇給内申、勤務評定などあり、県教委の指示を仰ぎ該当者へ

の不利益を生じないよう処理してきた。

問 新しい大隅中学校の学習面、生活面の現状と問題点を伺いたい。

教育次長

教職員の増加で免許外教科を兼任せず生徒の学力向上がみられた。また、生徒増で競争意識も高まり、両面で好成績を上げた。生活面も問題なく落ち着いている。同じ学校で居住地の違いで始良東部学区の高校受験状況が違うが県教委の状況を見守っていく。

問 合併による保護者の負担はなかったか。

教育次長

自転車通学生には、補助があり、7km以上の生徒はバス4台、3路線の送迎の運行で対応して負担はないと思う。

問 校門付近の危険性を考え改良の余地はないか。

教育次長

小中学校の通学区域は、合併協議会で当面は現行のままとし、今後の対応は地域や保護



末吉町岩南小学校区

大隅町岩川小学校区

大隅町岩川と連なる末吉町岩南地区

教育次長

改良された道路であり、現状をみながら検討していく。

問

学区制問題は早急に見直すべきであるがどう思っているか。

教育次長

小中学校の通学区域は、合併協議会で当面は現行のままとし、今後の対応は地域や保護

者の要請を踏まえながら結論を出していく。

問 曾於市内において、学区制の見直しが予測される校区は。

教育次長

岩南小校区と光神小校区であるが、現状調査の結果3名が希望するとある。

敬老祝金について

問 敬老祝金について、金額を少なくしてより多くの方へ配分する考えはないか。

市長

合併協議会で決定したことで節目祝い金となり旧態に戻すことは考えていない。

問 苦しい財政中での支給をどう考えているか。

市長

財政問題でなく目的のとらえ方であると思う。

問 80歳から88歳と90歳から99歳と幅がありすぎ、中間に支給の考えはないか。

市長

今後、中間に入れるとするなら検討していく。

問 子供のために保護者に喜ばれる祝い金の考えはないか。

市長

17年度は少子化対策にも大きく力を入れている。



長寿を祝っての敬老会（財部クリニックにて）

大隅合庁は どうなるのか

市長／存続を求め要望していく



漆間純明議員

漆間純明議員

曾於市

大隅町は、国所管の施設8、県所管の施設4、町所管の施設8の官公庁機関を有し、それらを核として総合的な町づくりに対応してきたが、当地を震撼させる事態が発生し大変憂慮している。去る11月12日の南日本新聞一

面トップに大きく記載された「鹿児島県出先組織改革案について」である。中でも総合事務所及び支庁は、南薩、北薩、始良、伊佐、大隅、熊毛、大島の7地区に設置し、効率的な運営を目指すとしている。曾於市にとつて、この改革は抜き差しならぬ重大な問題を含んでおり、現状存続に官民一体となり立ち上がるべきだと思いが、市長として、今後いかなる対策及び行動が必要と考えているか。

池田市長

県下を大きく7地区に分割し、それぞれに総合事務所または支庁を置くようになって

いる。大隅半島は肝属地区と曾於地区で一地区となっており、大隅の広さを考慮し駐在所の設置も考えられると聞いている。今後、県的情勢を見極めながら、現在の合同庁舎に曾於市の発展の基礎となる機構として頂けるよう要望していくことを考えている。

基本的には、総合事

務所として要望すべきである。累積人口からしても、合庁全体の予算執行額と比較すると、鹿屋合庁より大隅合庁のほうがはるかに大きい。市長は民意を結集し一体となり全力を尽くして、直接県に要望することを明確にすべきであるがどう考えているか。

市長

肝属地区、曾於地区で二つの総合事務所が

適当であると考えられる。総合事務所として残してもらいたいと要望したが、



存続が懸念される県大隅合庁

現在の形態で残せないなら支庁として残してもらいたいと思っているが、今後、県にも行き総合事務所を要望はしていきたい。また、地元の県議もいるので、相談しながら県議会での活動で協力してもらいたいと思っている。各当局にも今後、曾於地区の状態を理解してもらおうよう説明をしていきたい。また、外郭団体、各種団体の協力を得ながら話し合いを進め行動に移したい。

国大隅合同庁舎との 関連性は

県出先組織改革案の行方によっては、重大な影響を及ぼしかねない事態に立ち入るのでは、市長として二つの合同庁舎相互に及ぼす関連性をどのように認識されているか。

市長 前の機構再編で新庁舎での事務が始まっているので、大きな変化は

ないものと考ええる。

国、県は一体的に動くものである以上、危機感を持つべきである。総合事務所本体が鹿屋に移つたら将来国も動くと考えるのが当然である。駐在所であれば、一定期間したあと、閉庁されないか。

市長

全てが、鹿屋の方

へ移管されると曾於市だけの問題ではなくなるので、今後誕生する志布志市、大崎町に働きかけて、一緒に行動していく必要があるのではないかと考える。議員のいわれたことを心に受け止め、行動に移したいと思う。

国鉄代替道路の 整備改良について

昭和62年国鉄廃止後、利用計画案に基づき整備が行われてきた。隣接する松山町は野首橋まで完全改良済みである。当路線が改良されると、松山町から岩川市街地までの最短コースとなり、



岩川平原付近の旧国鉄線路跡

経済効果はもちろん新たな集客が見込まれ、商店街の活性化にもつながるものと期待している。早期着工に向けての取り組みを伺いたい。

市長 改良に当っては、路線の重要度合いからしても早期に改良すべき区間であると考えられるので、曾於市過疎地域自立促進計画や地域性を鑑みながら早急に検討していく。

曾於市消防局への移行は

市長／今のところ考えていない



原田賢一郎議員

原田賢一郎議員 消防

団をどのように認識しているか。

池田市長 市民にとってなくてはならないもの認識し、大変感謝をしている。

問 団員の訓練手当が減額されたと聞くが実態は。

市長 3ヶ町まちまちであったので一定基準を設けた、必要な訓練は適正な予算措置を図る。

問 団員の適正化(定数削減)をどう考えるか。

市長 将来は分団の再編、効率的な定員配置を考えた消防力の低下を招かない



総勢547人の団員による消防出初式

よう慎重に対応していく。

問 曾於地域消防組合から曾於市消防局へ移行の考えはないか。

市長 今のところ考えていないが、今後周りの状況を見ながら、どの方向

性を示したらよいか検討していく。

児童生徒の安全対策は

問 広島、栃木両県の小

学生児童殺害事件をどう受け止めどう考えているか。

市長 保護者や教育関係者だけでなく、全国民に衝撃を与えた深刻な事件である。

問 児童生徒が被害に合わないための安全対策をどうとっているのか。

八木教育次長

小学校においては下校時、1人になる時間なるべく少なくするため、低学年を高学年と一緒に下校させる。居残り学習の実態、中学校においては部活動の終了時間を厳守して下校指導の徹底など防犯パトロールの強化を図っている。

問 防犯ブザー配付

の考えはないか。

教育次長 通学の長さ

や校区の広さなど人通りの少ない通学路も多く、防犯ブザーの役目を十分発揮しえない面があるので、防犯パトロール面を強化したい。

口蹄疫、BSE、鳥インフルエンザ発生後の予防対策は

問 口蹄疫、BSE、鳥インフルエンザの発生をどう認識されているか。

市長 大変な実態であり、畜産経営の存亡に係る重大なことである。

問 口蹄疫、BSE、鳥インフルエンザ発生時の初動体制作りはできているのか。

福田産業経済部長 県には、その体制が確立されている。本市においては、4月から家畜防疫対策連



木造りのパドック型牛舎(末吉町和田さん)

絡協議会を本格的に発動する案を策定中であり、それを踏まえて初動体制の確立を図っていく。

問 日本一の畜産圏を築くための施策は。

市長 生産基盤の強化を図るため、生産頭数の維持拡大。優良種畜の導入保留の推進。パドック牛舎、スタンション等の導

入による省力管理におけるコスト低減に努め、環境に配慮した畜産振興策を図る。

交通体系の整備は

市長／計画的に整備をする



迫杉雄議員

迫杉雄議員 旧3町の市民の地域間交流を多いにうながす為には幹線道路、交通体系の整備はどのような考えであるか。

池田市長 合併により旧3町の幹線道路の点検と市道の整備促進に努め、地域間の行動圏の拡大や地域の雇用機会もひろが



笠木かんじん松線（大隅町笠木市吉付近）

り観光発展にもつながる。今後、10年間で合併特例債や過疎対策事業等を有効に使用して市道の整備をする。

問 財部町の七村から国道10号線への小倉地区の市道の整備と大隅町笠木からの末吉方面へのアクセスは早急に整備すべきであるが計画はどうなっているか。

市長 平成

18年度は国道

10号線および

県道塚脇財部

線の市道整備

に入るのので、

地元小倉地区

並び七村地区

の住民の意見

要望等も踏ま

えて平成18年

度中に計画実

施する。なお、

笠木かんじん

松線は大隅町

の市街地か

ら、末吉、財

部の市街地を

結ぶ最短路線

として平成16

年度から着手しており、

全体計画の1250mを

平成22年度完成を目指し

て整備する。

赤崎土木部長 かんじ

ん松の旧末吉町境付近の

交差点については、今後、

特例債事業で採択され6

m道路として改良整備し

たいと思う。

住民参画による 共同のまちづくりを

問 合併に伴い組織機構のスリム化が必要であり、定員適正化や補助金等に對してはどう考えているか。

中山助役 職員には、

現在の財政状況の厳しさ等を認識させて意識改革をさせる。補助金改革についても、行財政改革推進委員会の答申を受けて市長に報告し進める。場合によっては、パブリックコメント（市民意見公募の手續）で広く意見を求めて策定します。

問 財政運営の健全化は今後10年後に向けてどう進められるか。

市長 色々な見直しをしなければならぬが、まず人件費は当初1000名であったが、やはり今後は職員の数を134名の減を目指しており色々な見直しが考えられる。

問 公的施設等の民間委託や指定管理者制度並び

譲渡についてはどのような対応されるか。また、民間活力を引出す方策についてはどのような考えであるか。

市長 民間委託や譲渡について、効率の良いものは申し出により譲渡や賃貸も考えられる。現在、

職員によるプロジェクトで対応している。施設によっては譲渡により不利益をこうむることも考えられるので1件1件あたって、民間に譲渡できるものは譲渡することも考えられる。



商工会で運営されている末吉メセナ会館

マニフェストは 目標か公約か

市長／公約と理解してよい



山下 諭議員

財部選挙

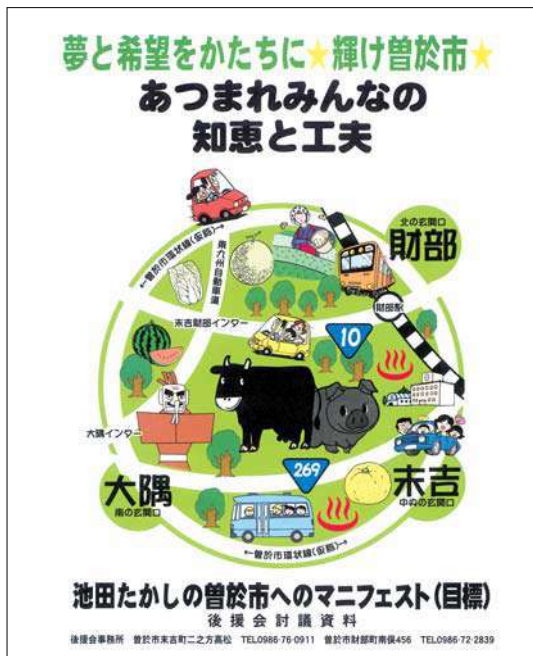
区選出の山下として質問する。合併しての喫緊の課題は、旧3町の町民が「曾於市民」として実感できる体制をつくることだと考える。

池田市長は選挙時のマニフェストに「均衡のとれた曾於市のまちづくり」を表明されている。その具体的内容と実践法は。また、マニフェストは目標とあるが公約ではないのか。

池田市長

健全財政の

確立、地域資源の活用、個性豊かな教育、住んで



60項目に及ぶ池田市長のマニフェスト

平成18年度 予算編成は

問 18年度は、曾於市と

して実施年度の予算編成である。その基本方針は。

国が推進している三位一体改革の市財政への影響及び合併に伴う財政への特別措置は計画どおりか。

またいまちづくり、共生協同で支えあう福祉のまちづくりを実施すること

均衡のとれた市政を推進する。具体的に60項目を掲げ実施開始年度も示した。

市長 総額を設定し、マニフェストにある60項目を基本に編成する。職員にも支所毎に説明会を実施していただいてもよい。

事務所執行体制は

施し、コスト意識を持つての予算要求を指導した。三位一体改革の細部は不明であるが、厳しいと考えて臨みたい。合併に伴う特別措置は地方交付税地方債については措置される。

問 曾於市政の今後の基本を決定する「行政改革推進委員会」の設置について他議員の質問により、初めて今後の日程などが明らかにされ、委員名も公表された。この中で旧未吉町、大隅町においてはその町の合併経緯、行政内容、問題点を熟知されている合併協議会委員を経験された人を選任されているが、財部からは選任されていない。その理由は。

また、現在、耐震強度の偽装問題が発生して国の責任も問われているが市として許可、認可及び検査する事務の執行体制

は完全か。

市長 18年3月に大綱を決定するため、10人の委員を任命、審議してもらっている。委員は旧未吉町3人、大隅町3人、財部町2人、市外2人で最適者として任命した。委員会は方向づけだけを答申してもらい、その実施

検証までは行わない。許可、認可、検査をする権限が市に与えられている事務の最終責任は市にあるが、体制は万全と

思っている。

子育て対策について

問 日本は人口減少の時代に突入している。高齢

者問題より大きな問題である。この子育て対策と私共大人もできる子供の安全対策についての考え方は。

市長 少子化問題、子育て対策は高齢者問題より重要との認識を持っている。子供の安全対策は市全体として取り組んでいきたい。



親子・お友達と楽しく（子育て教室より）

北部畑かん事業の推進を

市長／活力ある農業を
見出すため実施する



松田司議員

松田司議員

現在曾於

地域では、拡大な畑地帯で3地域において事業が実施されているが、曾於北部畑地かんがい事業を推進されるのか。

池田市長

曾於北部地

域では、用水施設がほとんどなく雨水による営農がされている。干害等に



北部畑かん谷川内ダムの建設現場

よる被害で農業生産性向上が阻害されている。計画的な水利用により収益性の高い作物の導入、栽培体系の合理化、計画的な生産出荷等を可能にし、生産性の向上営農確率の安定を図るため、曾於北部合併協議会において国、県、土地改良事業協議会に関係者の協力をいただきながら、事業の推進をしていく。

問 水利用による営農体系の確立についてはどうなのか。
市長 旧3町において、モデル畑かん事業実証を4団地で実施し、冠水技術の向上、栽培等の実証をしている。実証技術農家4団地で12戸実施されている。

問 畑地かんがい事業を推進するにはまず現場整備が先決と思うが、大隅北校区は桜島噴火による、ボラ排除地ではほとんどさされていない土地に畑地かんがい事業は必要なのか。

市長 畑地かんがい事業を推進するためには、現場整備が必要と思う。地元要請があれば各種事業の組み合わせ、また、市単独事業の転地返し事業等に係る農家の経費負担の減額に努める。
問 高齢化及び後継者不足という現実の中で、非常に困難性があると考えるが。
市長 将来を見据えて改革の時だと思う。後継者が活力ある農業を見出すため、ぜひ実施させた

問 畑地かんがい事業を推進するに当り再度の本同意は必要ではないか。
市長 平成18年度に国の事業開始、3町打合せて95%で同意、現在事業進捗状況は24%、今回の変更同意については、東九州道、区画整理、農振変更地外ダム周辺の水路変更による同意が必要で議会及び地区集落説明を実施して、変更同意をいただきたい。

乗合いバス運行について

問 旧末吉町で平成2年から地域住民の足である乗合タクシーが運行されている。旧財部町においては平成13年よりふれあいバスが運行されている。両町とも町民へのサービ



住民の足となる乗合タクシー

を基に早急な運行を望んでいる。
市長 旧3町を結ぶ路線の開通。大隅町の運行については、交通網対策委員会でも検討して実施する。

問 大隅町は面積も広く、中山地で、起伏も厳しい。特に恒吉地区は過疎地域でもある。各集落を結ぶ路線を要望する。
澤企画課長 各地区から委員を選任して、アンケートや地形を考慮しながら18年度中に運行予定である。

町民体育祭の 今後の扱いは

市長／市民体育大会として検討中



大川原主税議員

問 今の段階で統一して、市民の多くの参加者が足を運ばれるか大変気がかりである。ぜひ、慎重に実情を充分把握しながら進めていただきたい。

市長 財部町の町民体育祭にも参加して見て、立派にそこに根付いた催しだと感じた。急に統一というのでいいのか、教育委員会とも相談しながら結論をだす。

林業行政について

問 林業の関係でも「地材地建」という言葉が聞かれるようになってきた。地域をあげて、地球温暖化防止という観点からも除間伐に、一生懸命に取り組まなければいけないが、森林所有者に対する18年度の間伐等の助成はどうなるのか。

市長 国、県の補助事業を積極的に活用しながら、間伐や伐採経費の軽減、作業路、集材路の開設など引き続きやっていく。県単の高齢級間伐事業に、上乘せした形で山林所有者に対し10ha当り2万円と3万円の助成を行っていく。

問 の組織ということであるので検討させていただく。**問** 中核的担い手である森林組合育成については、現状に照らしどのような取り組む考えか。**市長** 今後、組合経営基盤強化の観点から大隅町森林組合においては、合併は避けておられない問題である。旧3町による市一本化を支援していく。

大川原主税議員 旧町で取り組んできた事業やイベントを今後どのようなにするのか。また、町民体育祭はどうなるのか。**池田市長** 町民体育祭は、末吉、財部両町で17年度まで行われてきた。18年度から、曾於市民体育大会として統一開催する方向で検討中である。



毎年多くの参加者で盛り上がる財部町民体育祭

問 地元産木材の活用について、具体的に提示すべきではないか。**市長** 「地材地建」の推進と共に、住宅建設の地元産木材利用と林道工事の看板等への利用を推進し、木造りのパドック型牛舎、四季祭市場の純木

市長 木材の利用の推進



林業振興の中核となる両森林組合

委員会活動

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会は、12月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(瀬戸口三郎委員長)は、曾於市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例など7件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案1件を賛成多数、議案3件を全会一致で可決、認定案3件を賛成多数で認定すべきものと決定しました。

☆曾於市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の制定

地方自治法の改正により、公の施設の指定を受けた指定管理者が管理を代行し、民間企業も参入できることになりました。

公の施設の管理者の指定については、市内業者を優先し、サービス、利用率の低下にならないよう意見を付して、可決すべきものと決定しました。

☆曾於市税条例の一部を改正する条例の制定

地方税法の一部改正に伴い改正するもので、今回の改正は、法改正に伴うものであると市民への啓発をし、理解を求める

べきとの要請をし、可決すべきものと決定しました。

☆曾於市大隅町弥五郎伝説の里設置及び管理に正する条例の制定

管理業務をして管理者制度へ移行するための一部改正であります。移行においては、財政面や住民サービスの低下にならないよう急ぐことなく十分な検討をし、移行すべきであるとの意見もあり、可決すべきものと決定しました。

☆平成17年度曾於市一般会計予算の補正

(第3号)

歳入歳出総額に、それぞれ3355万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ181億2687万1千円とするものであります。

歳入の主なものは、衆議院議員選挙委託金の157万9千円の追加と1091万7千円の財政調整基金繰入金であります。

歳出においては、各支所の市章取付工事費等や大隅町河原自治公民館の修繕費、末吉地区定住促進住宅建設補助金、消防団員の年報酬と末吉町楳分団のサイン設置工事費が主な追加であります。自治公民館建設事業補助金については質疑があり、修繕においては50万円以上の工事費で、その3分の1、増改築においても200万円を限度額としてその3分の1を曾於市自治公民館建設事業補助金交付規則を定め交付するとの答弁でありました。

☆平成16年度旧3町一般会計歳入歳出決算の認定

(末吉町) 歳出90億8070万6498円であります。乗合タクシーについては、今後、曾於市全域の運行を考えています。また、開発公社が所有する土地については、早急に目的活用するよう意見がでました。

(大隅町) 歳出73億9005万7千円でありま

す。公債費負担適正化計画の中で努力がみられま

(財部町) 歳出56億7242万570円であり、たからニュータウン事業は、宅地分譲48区画が整備され、すでに全区画が売却予定であります。

3町の決算については認定すべきものと決定しました。



好評により完売予定の「たからニュータウン分譲地」

文教厚生常任委員会

(渡辺利治委員長) は、平成16年度末吉町一般会計歳入歳出決算(所管分)など13件について委員会を開き、慎重に審査した結果、認定案12件を賛成多数、認定案1件を全会一致で認定すべきものと決定しました。

☆平成16年度旧3町一般

会計歳入歳出決算の認定

末吉町35億359万3

124円、大隅町23億9

786万3469円、財

部町18億7665万76

11円の執行であります。

各町窓口業務や各種証明

も電算化により効率的正

確さで今後も住民サービ

スに努めます。保健福祉

は、全国的な少子高齢化

に伴い各種の救護や福祉

施設のサービスを実施し

ました。大隅町では子育て

支援センターがあり、

好評で市全体へも普及す

るよう予算化も検討する

とのことでした。財部町

のリサイクルプラザ事業

負担金は都城市に完成し

た施設を利用しなかつたので負担金の返還や李比野地区の堆肥問題については行政指導を徹底するよう申し入れをした。大隅恒吉地区診療所は、週2日の診療で地域医療充実に貢献している。16年度で最後の卒業式を迎えた各学校での思いは感無量だと思いが、木造りの温もりある新生大隅中学校での成長を見守るとのことです。他の学校においても一新して学業に励んでいることが伺える。パソコンリースが満期を迎えましたが引き続き利用することです。学校給食もそれぞれ工夫され地産地消に取り組んでいる。財部中谷小学校の山村留学は素晴らしい、17年の希望

者はいないが、更に呼びかけることとした。教職員の地域居住を望むが、強制力がないとのことである。奨学金も各町ともに有効活用され滞納もなく、生涯学習講座も充実した事業がされています。各町社会教育関係施設の利用増の検討や保守点検、委託料等見直しをするよう申し入れをし、審査の結果、賛成多数で認定すべきもの決定しました。

☆平成16年度旧3町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

末吉町22億2322万

3533円、大隅町13億

8328万9239円、

財部町13億8299万8

083円の執行でありま

す。国保税未納対策に各

町ともに苦慮しているが、

減免申請等の軟化を求め

た。高額療養費では、都

城市のように受診者が差

額分だけ支払う委任払い

を、再度、県へ要請することです。

☆平成16年度旧3町老人保健事業特別会計歳入歳出決算の認定

末吉町29億1939万

9806円、大隅町21億

7122万9889円、

財部町18億9782万1

128円の執行でありま

す。本格的な高齢化社会

の到来に対応するため、

疾病の予防や治療、訪問

看護に係る総合的な保険

事業を実施している。老

人医療受給者は減少する

が、その後は、増加に転

ずることとした。

☆平成16年度旧3町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

末吉町14億8913万

5017円、大隅町12億

1583万7295円、

財部町7億9177万8

815円の執行でありま

す。介護予防は、介護が

必要な状態になるものを

予防し、元気で自立した生活を保つための取り組みであります。また、要介護者等を社会全体で支援するものとして、制度創設から5ヶ年を経過したが、急速な高齢化は進み認定者も増え続けることはさけて通れないが、心も身体も元気で長生きできる取り組みが必要不可欠である。

以上、3特別会計の審査の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

☆平成16年度財部町生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定

6901万7610円

の執行であります。内容については、一長一短であるが、管理委託料が今後財政負担を大きくする懸念があり、検討見直しをするよう申し入れをいたしました。審査の結果、全会一致で認定すべきもの決定しました。



文教厚生委員会現地調査 (財部一般廃棄物最終処理場にて)

建設経済常任委員会

(吉村幸治委員長)は、曾於市土地改良事業分担金徴収条例など16件について委員会を開き、慎重に審査した結果、議案9件を全会一致で可決、認定案7件を全会一致で認定すべきものと決定しました。

☆曾於市土地改良事業分担金徴収条例の制定

旧条例を暫定施行し対応していたが、事務事業の一元化を図るため制定するものであります。

今までの旧町の規則はどうなっているのかとの問いに、農地の災害で財部町20%、末吉町30%、大隅町40%であったが今後は、20%の統一になるとの答弁がありました。

☆曾於市公共下水道条例の一部を改正する条例の制定

下水道浄化センターに、指定管理者を置くことができる旨を制定するものであります。現在の委託

検討はするとの答弁がありました。

☆平成17年度曾於市水道事業会計予算の補正(第2号)

八合原水源のボーリング掘削の問いに、今後のために新しい水源を掘削する予定であるとの答弁があり、なお、水道は住民にとって必要不可欠であるので、利用者に支障がないよう最大の努力をされるよう要望がなされました。

☆平成17年度曾於市一般会計予算の補正(第3号)

農道清掃についての考え方はとの問いに、業者委託、シルバー人材センター委託、地元作業があるとの答弁がありました。次に、合併後の登記委託はとの問いに、末吉町は職員3名で対応、財部町は嘱託職員1名で全般的に対応、大隅町は職員2名では足りず司法書士へ委託しているが、今後、

☆平成16年度旧3町一般会計歳入歳出決算の認定

(末吉町)ゆず栽培の今後の見直しについての問いに、約300名の同好会があるが当り年と裏年があり、一定量の確保ができない。また、高齢化が進み増産が無理であるので、市全体で取り組めれば良いが量確保のためには増やしたいとの答弁がありました。次に、

研修センターには事故防止のため継続して指導員を置いてほしいがとの問いに、事故防止のため末吉、財部は置いている。今後、十分検討して統一を図っていききたいとの答弁がありました。(大隅町)地域振興大会は合併後はとの問いに、今後も予定をしており、補助金を

交付規則もそのまま新市に引き継いでいるとの答弁がありました。次に、集落道整備事業補助金の支給基準についての問いに、延長50m以上で幅員3m以上の路線に支給をしており、今後も継続していくとの答弁がありました。なお、曾於市全体に際えることで、緊急性や交通量等勘案しながら限られた予算の中で効果的な予算執行にあたられるよう要望がなされました。(財部町)道のオアシスきらら館の雨漏り工事の問いに、きらら館は新築ではなく10年程経った建物を購入し改築したも

ので老朽化によるものであるとの答弁がありました。次に、道路維持補修員の問いに、直営作業班7名で道路のやぶ払いをおこなっている。18年度以降も続けていきたいとの答弁がありました。

☆平成16年度各簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

給水負担金及び水道使用料の格差の解消はどうなっているのかとの問いに、18年度に水道運営審議会を立ち上げ、約5年を目途に調整をおこなっていききたいとの答弁がありました。なお、統一の使用料となるよう企業努力に期待し、市民に安心、安定した水の供給をするよう要望もありました。



曾於市有機センターで説明を受ける建設経済委員

私たちが作ります



議会広報等調査特別委員会として、第3号を初めて発行することができました。内容的には、平成16年度決算を中心に編集しております。より分かり易く、読み易い速報性のある広報誌作りに努めてまいります。

市民の皆様のご意見をお聞きしながら、曾於市議会だよりを発行してまいりますのでよろしくお願ひします。

大川原 主税委員長

曾於市が誕生して早や8ヶ月が経とうとしております。

今回、12月議会の委員会構成にて広報を担当することになりました。

曾於市議会だよりの編集では、分かり易く、読み易い紙面作りをするよう委員一同努力して参りますのでよろしくお願ひ致します。

大川内 富男副委員長

1年生議員にして、議会だよりの編集に係れますことを議会人修養の早道と感謝し取り組んで参ります。そして、また刻々と作り生まれる曾於市議会の歴史の最先端に生きることの辛さを感じながら・・・

八木 秋博委員

曾於市が誕生して、旧町

に引き続き議会だよりを発行することになり、このたび議会広報等調査特別委員会に選任され旧末吉町議会広報委員の経験を生かしながらできるだけ早く、正確に広報し、見易い、読み易い、分かり易い議会だよりを市民の皆様にお届けしたいと思ひます。

ご感想などありましたらお寄せください。

大休寺 守委員

五位塚 剛委員

議会だよりの編集に当ることに成り、身の引き締まる思いで一杯です。「安心して暮らしたい」すべての住民の願ひです。議会活動の原点だと思ひます。

西川 熊則委員

議員に対する住民の期待は大きなものを感じます。市長が提案したものであつても、住民に不利益になるものは議会のチェック機能が求められます。

議会だよりは、議会の活動をお知らせする広報誌です。市民の声も期待します。

五位塚 剛委員

議会広報等調査特別委員会

議長 坂口 幸夫
委員長 大川原主税
副委員長 大川内富男
委員 八木 秋博
西川 熊則
大休寺 守
五位塚 剛



次の定例議会は3月です 傍聴席はあなたが主役

議会を傍聴することは、市民として市政を知る最もよい方法です。ぜひ、議会を傍聴するよう心がけましょう。定例会は、3月・6月・9月・12月です。

議会を傍聴されたい方は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

☎0986-76-8816